

# 2021 年度 適性検査問題

## 第 1 回 B

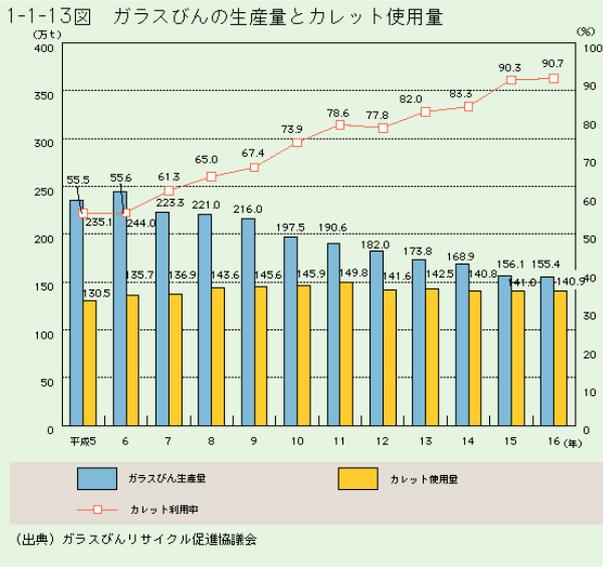
(50 分・100 点満点)

注意：答えはすべて解答用紙に記入して下さい。

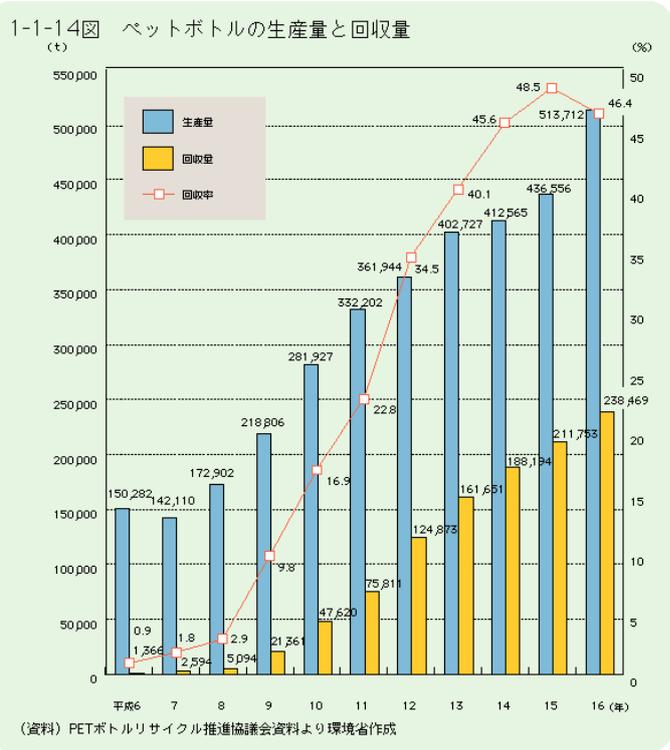
帝京八王子中学校

1 次の各グラフを見て後の各問いに答えなさい。

A

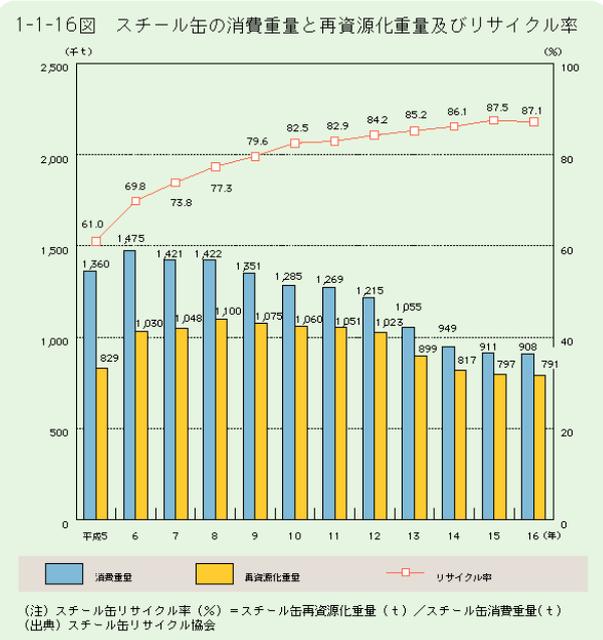


B

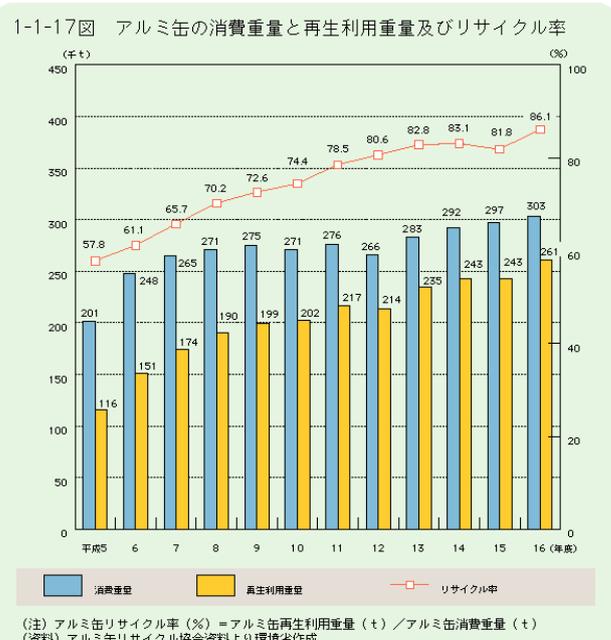


(注) カレットとは回収したガラスびんを<sup>くだ</sup>砕いたガラス片のこと。

C



D



- (1) スチール缶とアルミ缶について答えなさい。
- ① 消費重量の移り変わりをみると、スチール缶とアルミ缶ではどのようなことがわかりますか。説明しなさい。
  - ② グラフBからはペットボトルの生産量と回収量の現状が、どのようになっていることがわかりますか。
- (2) 最近ではペットボトル容器の使用が増えています。ペットボトル容器の長所を2点考えて答えなさい。
- (3) 次の各問いに答えなさい。
- ① スチール缶やアルミ缶では容器の表面に印刷をして、商品名などを表示していますが、ペットボトルは違う方法で表示を行っています。それはどのような表示の仕方ですか。スチール缶、アルミ缶との違いがわかるように説明しなさい。
  - ② ①に見るペットボトルの商品表示の方法は、使用済みペットボトルの再利用をできるだけ容易にする観点から法律で定められています。ペットボトルに印刷をすると、どのような点で不具合が起こりますか。具体的に説明しなさい。
  - ③ 使用済みのペットボトルの再生用途には、飲料用の容器への再生がほとんど入っていません。これは、新しい飲料用ペットボトルへの再生が技術的に難しいことが理由になっています。どのような点で使用済みのペットボトルの飲料用ペットボトルの再生が困難なのかを②の違いを手がかりにして説明しなさい。
- (4) ペットボトルのリサイクルを進めるためには、消費者、自治体（市区町村）、生産者がともに対策を立てていかななくてはなりません。それぞれが行うべき対策を答えなさい。

2

次の資料および会話文について後の各問いに答えなさい。

米の収穫量（2019年産）

	t	%
全国	7762000	100
新潟県	646100	8.3
北海道	588100	7.6
秋田県	526800	6.8
山形県	404400	5.2
宮城県	376900	4.9
福島県	368500	4.7
茨城県	344200	4.4
栃木県	311400	4

(資料：日本国勢図会 第78版より)

たける： お母さん、このお米おいしいね。

お母さん： おいしいでしょ！新潟県産のお米なのよ。

たける： お米っていつごろからあるの？

お母さん： 今から約2500年前の縄文時代の終わりごろね。

①米作りが始まってから日本人の生活がかなり変わったわ。

たける： そんなに昔からお米はあったのか。

お母さん： 今では日本人の主食となっているけど、②江戸時代は農家の人でもあまりお米、特に白米は食べることはできなかったの。

たける： そうなのか。ありがたく食べないとね。

そういえば、何でうちでは③お米をペットボトルに入れて冷蔵庫に保存しているの？

お母さん： それは  からよ。

ところで、たけるはお米を使った料理は何が好きなの？

たける： お母さんが作るカレーライスが好きだな。

お母さん： じゃあ、明日はカレーライスにしましょう。

- (1) 資料をみて米の収穫量が多い上位の地域は地理的・気候的にどのような特徴があるかを述べなさい。
- (2) (1)の地域で米の収穫量が多い理由は何が考えられるかを述べなさい。
- (3) 昔、米どころであった濃尾平野にある県は、左表の上位にはありません。濃尾平野に位置する県の米の収穫量が上位にない理由は何が考えられるかを述べなさい。
- (4) 下線部①について、米作りによってなぜ日本人の生活が変わったのかを述べなさい。
- (5) 下線部②について、なぜ農家の人でも白米を食べることができなかったのかを述べなさい。
- (6) 江戸時代にAの写真のくわを改良してBの写真のくわができました。Aの写真のくわに比べてBのくわはどのような点にすぐれているかを理由を含めて説明しなさい。



A



B

- (7) 下線部③の保存方法がすぐれている理由は何が考えられますか。会話文  に入る言葉を書きなさい。

帝京八王子中学校 第1回B 適性検査 解答用紙

1	(1)	①	
		②	
	(2)		
	(3)	①	
		②	
		③	
	(4)	消費者	
		自治体	
		生産者	

2	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	
	(5)	
	(6)	
	(7)	

受験番号		氏名		点
------	--	----	--	---

帝京八王子中学校 第1回B 適性検査 解答用紙

1	(1)	①	消費重量ではスチール缶は年々下降しているが、アルミ缶は年々上昇している。 スチール缶、アルミ缶それぞれに対し3点	6点	
		②	生産量の伸びに回収量の伸びが追いついていない。生産量も回収量も増えている。等 スチール缶、アルミ缶それぞれに対し3点 「増加」のみは4点	6点	
	(2)	落としても割れたり変形したりしにくい。重量が軽い。飲みかけの状態ですたを閉められる。容器の生産コストが安い。空になった容器をつぶして小さくできる。等 1個4点、3個以上に対しては1個につき-4点		8点	
	(3)	①	商品名などが書かれた樹脂製フィルムを無地の容器に巻いている。(貼っているも可) 商品名などが書かれた穴あきの厚紙製タグをボトルの上部にはめている。等	6点	
		②	印刷に使ったインクが、再生作業時に容器のプラスチックに混ざってしまう点。	6点	
		③	ペットボトルの材料の樹脂は容器に付着している異物を除去しにくい物質であるため、飲料容器用の材料の質を保つことが難しいから。	6点	
	(4)	消費者	ペットボトルをきちんと分別してゴミとして出す。		6点
		自治体	ペットボトルをきちんと回収し、資源として再利用する		6点
		生産者	ペットボトル回収・リサイクルの費用の一部を負担する。		6点

2	(1)	日本の北に位置し、寒い地域である。	6点
	(2)	雪解け水などが豊富で米作りに適しているから。冬の間、積雪などにより他の作物が作りにくいから。米の品種改良により寒い地域での栽培が可能になったから。等	6点
	(3)	人口が増え、工場や住宅などが集中して田んぼの数が減少したから。	6点
	(4)	移動生活から定住生活へと変わっていった。米の蓄えをめぐって戦争が起こった。等	6点
	(5)	お米を作っても税として納めなくてはならなかったから。農民たちは種もみを残しておかなければならなかったから。等	6点
	(6)	刃の部分の3点に圧力が集中して深く地面につきささるようになった。	7点
	(7)	害虫の侵入を防ぎ湿度も一定に保たれているためカビの発生も抑えられるから。	7点

受験番		氏名		点
-----	--	----	--	---